

建設の機械化

1995.8

No.546



- ◆巻頭言 水力開発と国際協力……………飯 島 滋 1
- 海上土木工事における GPS 測量システムの導入——東北電力原町
火力発電所港湾工事——……………佐々木 明・田 中 千 秋・沖 津 太 朗 3
- ヘリウム混合ガス併用ケーソン無人掘削工法——名港西大橋Ⅱ期線
ピアケーソン工事——……………宮 内 秀 敏・松 浦 幸 三・大 平 正 美 10

グラビヤ——ヘリウム混合ガス併用ケーソン無人掘削工法

- 飛行船型バルーンとデジタルスチルカメラを用いた新しい空中写真
測量システムの開発……………高 田 知 典・掛 橋 孝 夫 17
- 建設機械の取引に関する実態調査について……………吉 井 文 夫 23
- ◆ずいそう 私と土木……………小 松 明 子 28
- ◆ずいそう 讃岐とうどん……………角 谷 博 30
- ◆平成6年度建設業界で採用した新機種
建設業界（その1）……………植 松 勝 之 32
- 第46回通常総会開催……………56
- ◆平成7年度社団法人日本建設機械化協会会長賞・準会長賞・奨励賞……………68
- 大型土木工事における遠隔制御システム——雲仙普賢岳無人化施工/
掘削・覆工併進工法（ECL工法）と空気カプセル搬送システム/
原子力発電所建設工事における機械化工法の開発/
ハイドロメカニカルトランスミッション（HMT）搭載ブルドーザの開発/
エポ工法（人孔鉄蓋維持修繕工法）
- ◆わが工場 三井三池製作所 三池事業所……………堀 下 純 次 77



◆海外情報	81
◆新工法紹介 03-107 柱現場溶接ロボット「鍛冶太君」/04-118 切羽前方地質予知システム (TSP システム)/11-38 フジタテレワークシステム	調査部会 82
◆文献調査 除雪機械の動向/キャブの中のスパイ (稼働記録計)/新タイプの遠隔停止装置/空気駆動コンベヤ/地下専用無線機/恐竜がトンネル工事を遅らせた	文献調査委員会 85
◆整備技術 さく岩機の知識と整備 (その3) さく岩機	整備部会 89
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 97
◆お知らせ 排出ガス対策型エンジンの認定および排出ガス対策型建設機械の指定について (追加)	98
行事一覧	100
編集後記	(中谷・根尾) 104

◇表紙写真説明◇

オフロードダンプトラック
KDT 360

川崎重工業株式会社

本機は、鉱山や土木工事分野に対し Kawasaki が英国 Terex Equipment 社と OEM 提携して本年7月に発売した最大積載量 36t のオフロードダンプトラックです。

- ボディの各プレートには、高い耐摩性と耐衝撃性を持つスウェーデン鋼 Hardox 400 を使用しています。
- ROPS (転倒時運転者保護構造)/FOPS (転倒時運転者保護構造) の採用によりオペレータ保護の充実をはかっています。
- エンジンはパワフルでトルク感にあふれ、パワー/エコノミーの切換えシステムにより効率よく運転できます。
- タイヤは耐熱性、耐摩耗性に優れ、かつ低燃費と高

いグリップ力を実現するラジアルタイヤを採用しています。

- ブレーキは、前後輪独立回路の全油圧式で前輪に乾式ブレーキ、後輪に大容量クーラ内蔵の湿式多板ブレーキを採用、安定した制御力を発揮します。
 - キャブ内は、多調整機能を持たせたシートや大容量エアコン、カーステレオを標準装備し、快適な操縦空間となっています。
- なお、今回一回り大きい最大積載量 50t の兄弟機種 KDT 500 も同時に発売しました。

＜本機の主な仕様＞

	KDT 360	KDT 500
最大積載量	36,300 kg	50,000 kg
空車重量	34,600 kg	42,750 kg
最高速度	60 km/h	57 km/h
登坂能力	19.3度	16.7度
エンジン出力	462 PS/rpm	654 PS/rpm